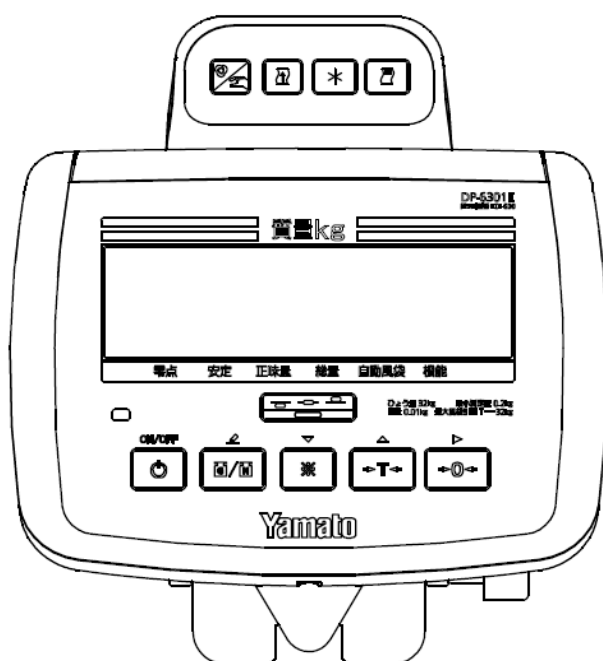


防水形デジタル台はかり DP-6301 II

ジャーナルプリンタ JPS-510

取扱説明書



信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保存し、必要なときにお読みください。






目 次

	頁
1 章 ご使用前にお読みください	
1-1. 安全に正しくご使用いただくために……………	2
2 章 基本設定について	
2-1. リボンカセットの取り付けかた及び取り外しかた……………	4
2-2. ロール紙の入れかた……………	4
2-3. キー操作部について……………	5
2-4. 電源投入時の表示点滅について……………	5
2-5. 日時の設定のしかた……………	6
2-6. JPS-510 に関するユーザパラメータについて……………	7
2-7. ユーザパラメータの設定のしかた……………	8
3 章 印字のしかた	
3-1. 印字のしかた……………	9
3-2. 印字フォーマットについて……………	10
4 章 その他	
4-1. JPS-510 に関するはかりの表示エラーについて……………	11
4-2. 仕様……………	11






1-1. 安全に正しくご使用いただくために

この「安全に正しくご使用いただくために」は、あなたや他の人々への危害や財産の損害を防止するためのものです。ご使用の前には、必ずこの「安全に正しくご使用いただくために」をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、はかり本体の取扱説明書 P.1 にも同様に安全に正しくご使用いただくための大切な注意事項が記載されています。こちらも含めてお読みいただき、安全に正しくご使用ください。


- 表示と意味については次のように定義しています。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受けたりする可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が発生したりする可能性が想定される内容を示しています。
	禁止	してはいけないことを表しています。
	強制	しなければならないことを表しています。


- この製品のご使用前に、以下の「危険」「警告」「注意」をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

	危険	<p>：感電事故を避けるために（Bluetooth™ 無線プリンタ、ZBee 無線通信、RS232C 入出力、リレー接点入出力） AC アダプタや各種ケーブル類を足や車輪で踏まないようにしてください。また、ケーブル類の抜き差しは、差し込み部先端をしっかりと持って確実に行ってください。</p> <p>：乾電池による人体への被害を避けるために（赤外線リモコン） 赤外線リモコンの乾電池が液漏れしたときは素手で液に触らないでください。液が身体や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などがあるときは医師に相談してください。万一、電池の液体が目に入ったときは、擦らずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。</p> <p>：爆発、引火事故を避けるために（すべてのオプション機器対象） はかり本体及びすべてのオプション機器は防爆機能を備えておりません。 可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。</p> <p>：火災、感電事故を避けるために（すべてのオプション機器） 煙が出ていたり、異臭がしたりするなどの異常状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにはかり本体の電源コード及び AC アダプタのプラグをコンセントから抜き、電池がある機器については電池を抜き、煙が出なくなるのを確認してから購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。</p>
---	-----------	---


警告

 : 傷害、損害事故を避けるために（すべてのオプション機器対象）


- (1) 一切の分解、改造しないでください（故障や感電、けがの原因となります）。
- (2) 内部に水や異物を入れないで異物を入れないでください（火災や感電の原因となります）。
- (3) 火中に入れないでください。またショートさせたり、加熱したりしないでください。

 : 水による傷害、損害事故を避けるために（すべてのオプション機器対象）

USB メモリ収納ボックスなど一部の機器を除き、オプション機器は防水性を兼ね備えておりません。水をかけたり、湿気の多い場所に設置したりしないでください。故障の原因となります。また、USB メモリ収納ボックスについては、蓋を閉める際、閉めかたが不十分ですと防水性が保てず、内部に水などが侵入し、USB フラッシュメモリが破損する恐れがあります。閉める際は、ローレットネジをしっかりと回して閉じてください。


 : 指を挟まない（USB メモリ機能）

USB メモリ収納ボックスは可動部があります。蓋の開け閉めの際は、指などを挟まないようにしてください。

 : 乾電池による傷害、損害事故を避けるために（赤外線リモコン）

- (1) アルカリ乾電池とマンガン乾電池以外の電池は使用しないでください（液もれや破裂の原因となります）。
- (2) +と-の向きを正しく入れてください（故障の原因となります）。
- (3) 乾電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。
- (4) 乾電池を使い切った場合、または長時間（1ヶ月以上）使用しない場合は、リモコンから取り出してください（乾電池が液もれし、リモコン内部の腐食の原因となります）。
- (5) 新しい乾電池と使用した古い乾電池を混ぜて使用しないでください（電池寿命の低下の原因となります）。
- (6) 液漏れした乾電池は使用しないでください（リモコン内部の腐食の原因となります）。


注意

 : 本機を損傷させないために（すべてのオプション機器対象）

- (1) 表示部、キー部を爪や先の尖った物で押さないでください。
- (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。

 : 性能を維持させるための保管場所について（すべてのオプション機器対象）

- (1) 本器は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所・加わりやすい場所での保管は避けてください。
- (2) 直射日光の当たる場所、高温／多湿の場所、冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください（周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります）。
- (3) 使用温度範囲（-10～40℃）以外では使用しないでください。

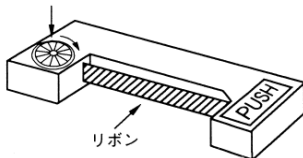
 : 廃棄について（（1）すべてのオプション機器対象、（2）赤外線リモコン）

- (1) オプション機器を廃棄する場合、各自治体で定められている廃棄要領にしたがい、正しく廃棄してください。
- (2) 使用済み乾電池を廃棄する場合、ショートを防ぐために電極にセロファンテープを貼り、同じく各自治体で定められている廃棄要領にしたがい、正しく廃棄してください。

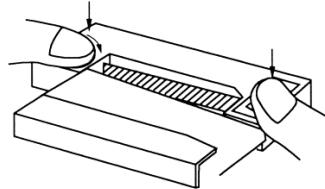
2-1. リボンカセットの取り付けかた及び取り外しかた

●リボンカセットの取り付けかた

矢印方向にローラー回し、リボンのたるみをなくしてください。

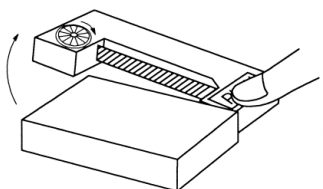


プリンタにリボンカセットを取り付けて、上から指で軽く押してください。



●リボンカセットの取り外しかた

PUSH を軽く押して、リボンカセットをはずしてください。




2-2. ロール紙の入れかた

(注意) ロール紙は指定のものをご使用ください。

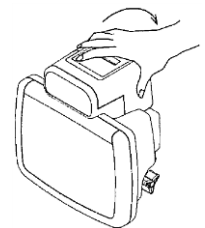
普通紙、45mm 巾、紙厚 0.07mm (52.38g/m²) 外径φ45mm 以下

①ケースの後端を持ち、後ろ方向に引っ張るようにしてプリンタカバーを開けてください(右図参照)。

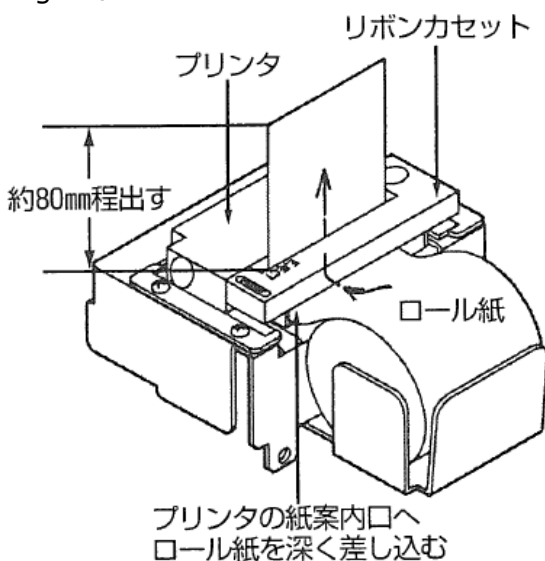
②ロール紙の先端をプリンタの案内口に深く差し込んだまま、 を押してロール紙をプリンタの紙出口 から約 80mm 程度出してください (Fig (A) 参照)。

③ロール紙をロール紙位置に入れてください (Fig (B) 参照)。

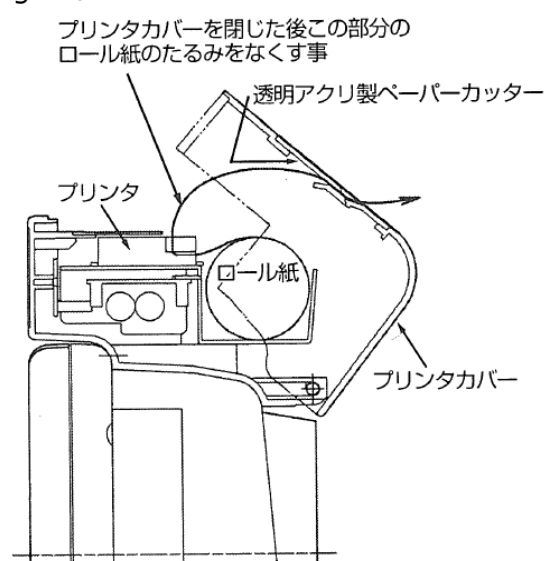
④プリンタより出ているロール紙の先端を透明アクリ製ペーパーカッターの下へ差し込み、プリンタカバーを閉じてプリンタから透明アクリ製ペーパーカッターの下までのロール紙のたるみをなくしてください (Fig (B) 参照)。



● Fig (A)



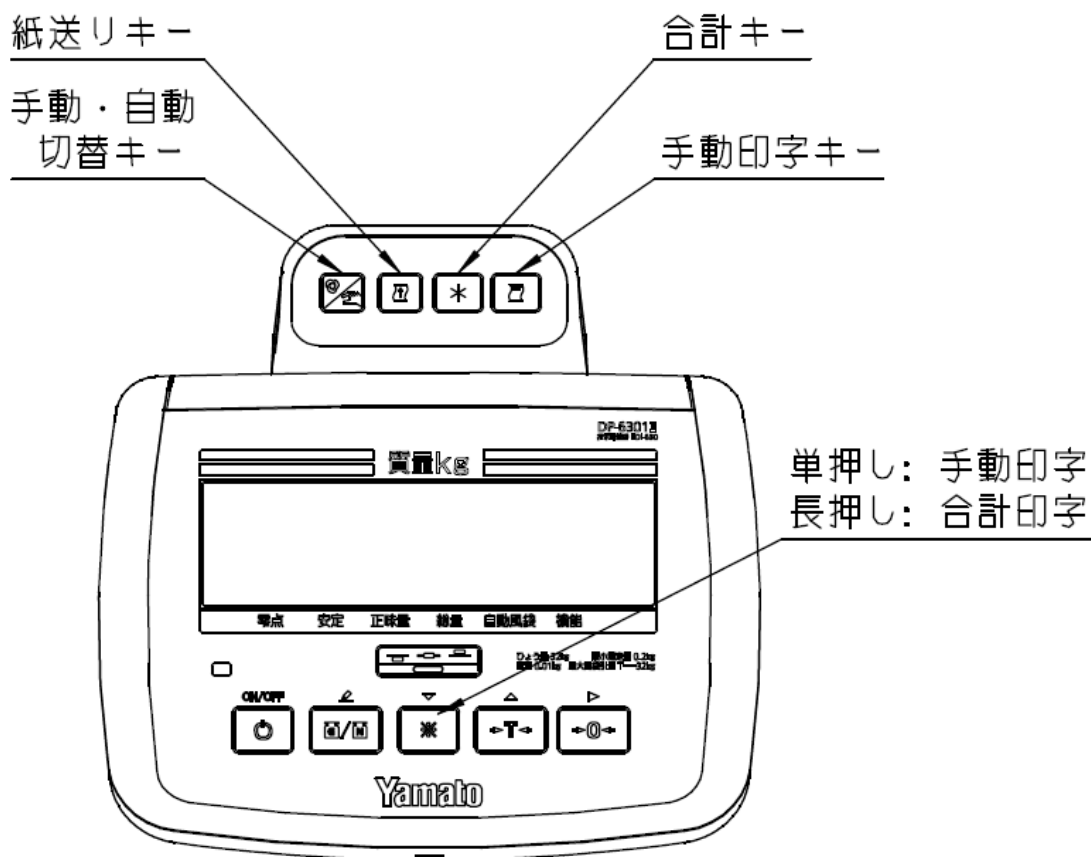
● Fig (B)



(注意) ご使用前にロール紙の残量を確認してください。尚、弊社指定のロール紙をご使用されている場合、残りがなくなるとロール紙の両端に赤い線が出ますので、その場合はロール紙を早めに取り替えてください。

2-3. キー操作部について

キー操作部



●プリンター側

	<p>手動・自動切り替えキー</p> <p>手動印字と自動印字を切り替えたいとき、押すと切り替えることができます。 その際、画面に「At. off」（＝手動印字）または「At. on」（＝自動印字）が表示されます。</p>
	<p>紙送りキー</p> <p>紙送りしたいとき、押すと1行分の紙送りをすることができます。 常に紙送りしたいときは、ユーザパラメータ#28を1（行）以上に設定してください。</p>
	<p>合計キー</p> <p>合計を印字したいとき、押すと合計値とその回数が表示されます。一度、合計を印字するか、または電源プラグをコンセントから抜くと、記憶されていた合計は消去されます。</p>
	<p>手動印字キー</p> <p>手動設定時にはかりに載っている品物の質量を印字したいとき、押すと質量が印字されます。 また、同じく手動設定時、ユーザパラメータ#30を1に設定すると、押すとゼロ印字されます。</p>

●はかり側

	<p>※キー/デクリメントキー</p> <p>手動設定時に押すと、はかりに載っている品物の質量、及びゼロを印字することができます。 また、手動・自動の設定にかかわらず、長押しすると合計値とその回数が印字されます。</p>
--	---

2-4. 電源投入時の表示点滅について

ジャーナルプリンタを付属したばかりでは、ジャーナルプリンタのウォーミングアップのため、はかりの電源をオンした際にすべての表示が10秒～20秒ほど点滅（点灯）する場合があります。特に、電源プラグをコンセントから抜いて数時間経つと、ジャーナルプリンタのウォーミングアップが必要となります。その場合、表示の点滅が終わり、零点が表示されるまで、計量・印字は行わないでください。20秒以上経ってもウォーミングアップが完了しない場合は、一度、電源プラグをコンセントから抜き、再度、電源プラグを差し込み、電源オンしてください。それでもエラー表示される場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。

2-5. 日時の設定のしかた

例) 2014年3月1日13時25分に設定する場合

	操作説明	表示内容
①	<p>→T← を押しながら ⏻ を押ししてください。西暦画面が表示されます。</p> <p>日付・時刻を設定する場合は 西/西 を押ししてください。</p>	
②	<p>西暦の下一桁が点滅しますので、→T← と ※ で現在の西暦を設定してください。設定後、西/西 を押ししてください。</p>	
③	<p>月が点滅しますので、→T← と ※ で現在の月を設定してください。設定後、西/西 を押ししてください。</p>	
④	<p>日が点滅しますので、→T← と ※ で現在の日を設定してください。設定後、西/西 を押ししてください。</p>	
⑤	<p>時刻が点滅しますので、→T← と ※ で現在の時間を設定してください。設定後、西/西 を押ししてください。</p>	
⑥	<p>分が点滅しますので、→T← と ※ で現在の分を設定してください。設定後、西/西 を押ししてください。</p>	
⑦	<p>再び、西暦画面が表示されます。</p> <p>設定を終了する場合は、⏻ を押ししてください。</p> <p>設定が完了し、零点表示に戻ります。</p>	

(注意) 日時データの記憶はリチウム電池にて行っていますが、電池がなくなると日時データも消えてしまいますので、はかりを使用しない場合でも定期的に電源プラグをコンセントに差し、リチウム電池の充電を行ってください。

2-6. JPS-510 に関するユーザパラメータについて

JPS-510 では以下のユーザパラメータを設定する必要があります。

番号	項目	設定値	機能説明（下線__は出荷時設定）
#06	ジャーナルプリンタの使用	0: 使用しない 1: <u>使用する</u>	

（説明）ジャーナルプリンタを使用するときは、必ず設定値を「1」にしてください。

#11	印字のタイミング	0: 印字機能を使用しない ※プリンタキーのみでの設定となります 1: 安定後に自動印字 2: 安定後の取り除き時に自動印字 3: <u>安定後に</u> <input type="checkbox"/> で手動印字 4: マルチファンクション機能・適量時に自動印字 5: マルチファンクション機能・適量時に <input type="checkbox"/> で手動印字 6: 設定禁止	
-----	----------	---	--

（説明）手動印字・自動印字を含む（手動・自動はプリンタキーでも設定できます）、印字のタイミングを設定します。

#14	印字内容の選択	0: <u>ネット重量</u> 1: ネット重量、風袋重量、グロス重量 2: ネット重量、風袋重量	
-----	---------	---	--

（説明）正味量、風袋量、総量の中から印字内容を選択します。

#23	印字時の SEnd 表示	0: "SEnd"表示しない 1~8: 設定した秒の間、SEnd 表示する（出荷時設定は 1）	
-----	--------------	--	--

（説明）印字する際にはかりの画面に「SEnd」を表示します。

#26	日時データの印字	0: <u>しない</u> 1: <u>する</u>	
-----	----------	-------------------------------	--

（説明）#14 で選択した書き込み内容と一緒に日付と時刻を印字します。

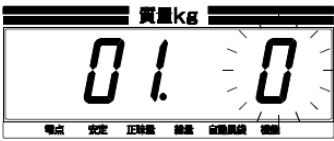
#28	紙送り量の設定	0: <u>しない</u> 1~15: 設定した行を空送りする	
-----	---------	------------------------------------	--

（説明）印字後の紙送り量を設定します。設定値分の行数を紙送りします。

#30	ゼロ印字	0: <u>しない</u> 1: <u>する</u>	
-----	------	-------------------------------	--


（説明）質量 0.00kg のデータを手動で印字することができます。

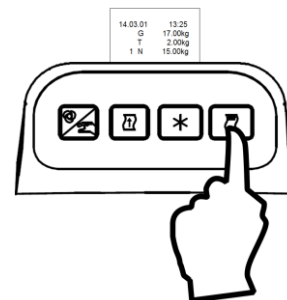
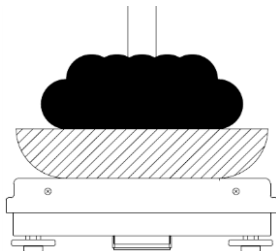
2-7. ユーザパラメータの設定のしかた


	操作説明	表示内容
①	<p>→0← と →T← を同時に押します。</p> <p>ユーザパラメータ#01 と、その設定値が表示されます。</p>	
②	<p>ユーザパラメータ設定時のキー操作は、以下の通りです。</p> <p>→0← : 次のパラメータへ進む。 →T← : 設定値を「+1」する。 * : 設定値を「-1」する。</p> <p>(便利な操作)</p> <p>① →0← を押しながら * を押すと、前のパラメータへ戻ります（#01 のときに押すと、#39 へ進みます）。</p> <p>② 設定値の点滅中に 画/画 を押すと、パラメータ番号が点滅し、→T← または * を押し続けることで、パラメータ番号を早送りすることができます。再び 画/画 を押すと、設定値を入力することができます。</p>	
③	<p>(重要)</p> <p>設定値を変更した場合は、必ず →0← を押して次のパラメータへ進んでから電源をオフしてください。</p> <p>次のパラメータへ進まないで、設定値の変更は更新されません。</p>	

3-1. 印字のしかた

手動印字のしかた

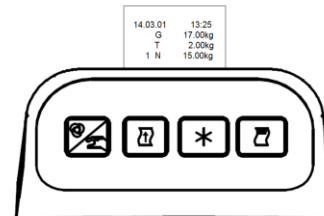
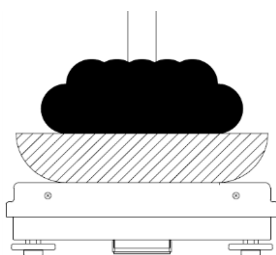
- ① プリンタの自動・手動切替キーを押して、手動印字にします。
- ② ゼロ表示を確認し、はかりの載台に品物を載せます。
- ③ 品物を載せたまま  を押すと、品物の質量が印字されます。




※はかり側で印字を操作する場合は、 を押してください。

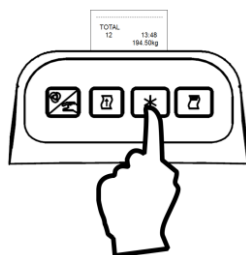
自動印字のしかた

- ① プリンタの自動・手動切替キーを押して、自動印字にします。
- ② ゼロ表示を確認し、はかりの載台に品物を載せます。
- ③ 品物の質量が自動で印字されます。



合計印字のしかた


- ① はかりに何も載ってない状態で  を押してください。
これまで印字した合計値が印字されます。



● 実際の印字例

14.03.01	19:18
G	10.20kg
T	0.00kg
1 N	10.20kg

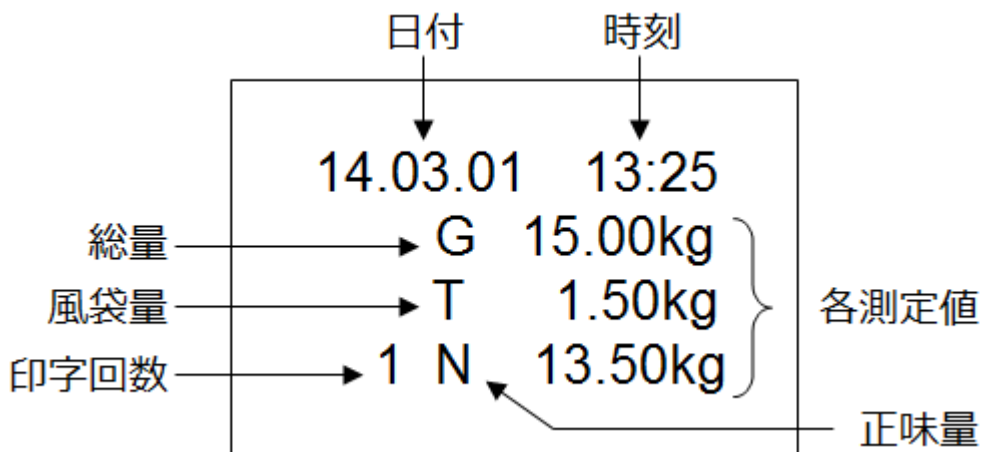
TOTAL	14.03.01
1	19:23
	10.20kg

※はかり側で印字を操作する場合は、 を押し続けてください。

(注意) 一度、合計を印字するか、または電源プラグをコンセントから抜くと、記憶されていた合計は消去されます。

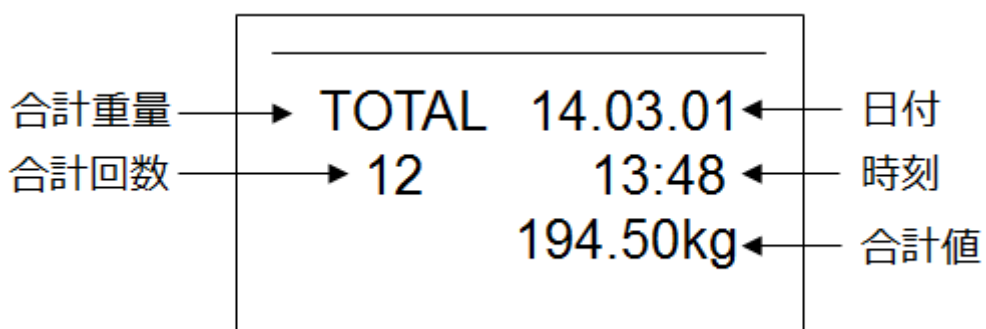
3-2. 印字フォーマットについて

● 通常計量時・チェック計量時の印字例



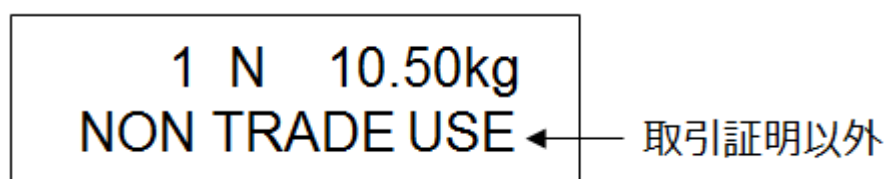
(注意) 印字内容はユーザパラメータで設定します。詳しくは「3章 ユーザパラメータについて」をご覧ください。

● 合計値の印字例



● 定量計量時・減算式チェック計量時の印字例

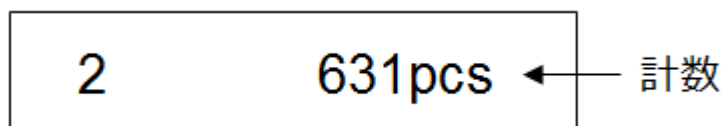
(NON TRADE USE (=取引証明以外) が印字されます)



● ランク選別時の印字例



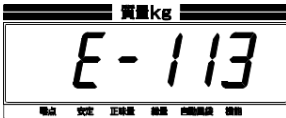


● 計数計量時の印字例







4-1. JPS-510 に関係するはかりの表示エラーについて

下記のような表示が出たら表示エラーですので、対処方法に従って対処してください。下記以外の表示がでた場合や、下記方法でも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。

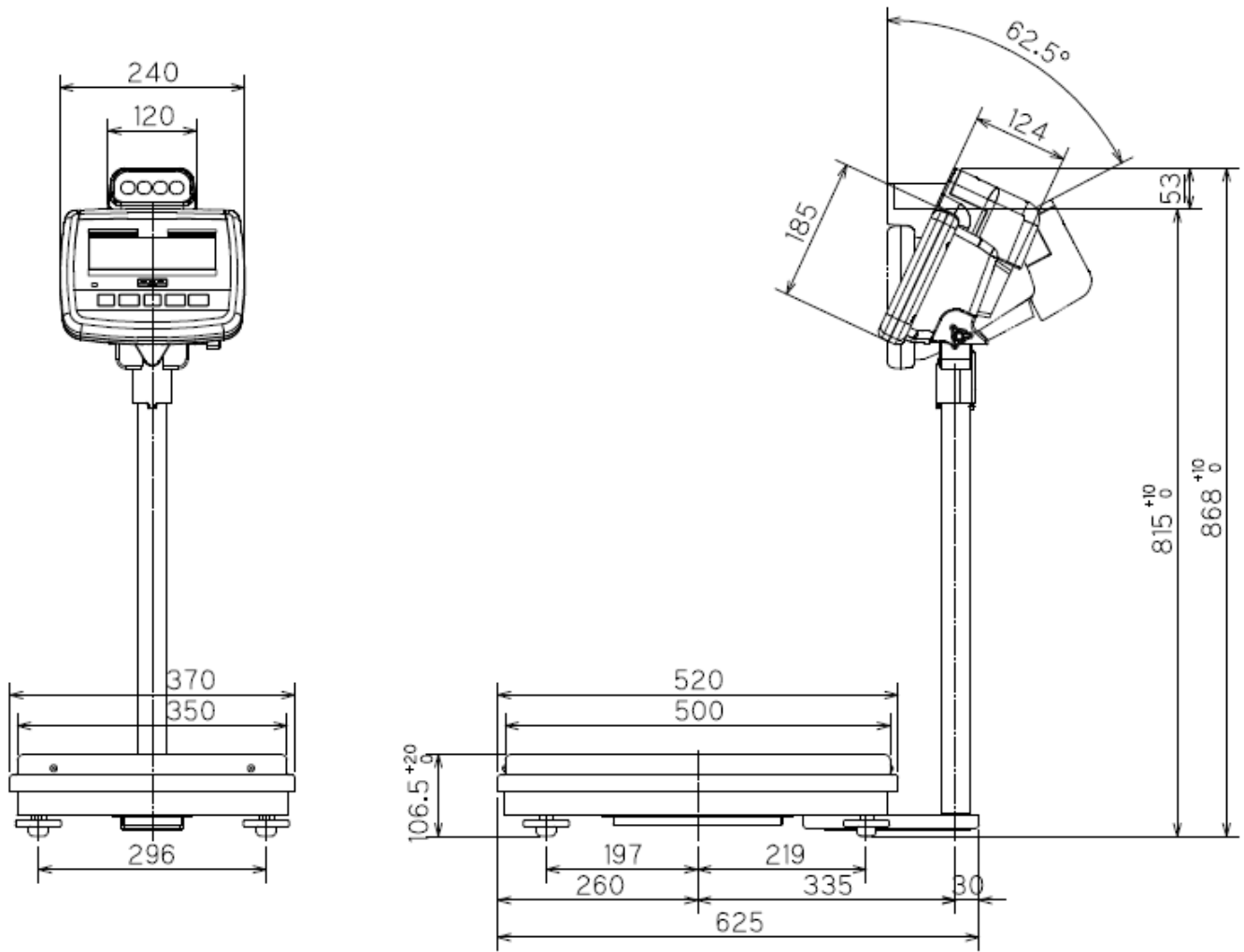
表示内容	原因	対処方法
プリンタエラー 	プリンタのロール紙がセットされていないか、プリンタの蓋が開いている可能性があります。	ロール紙をセットし、プリンタの蓋が閉まっていることを確認した上、電源をオンしてください。
合計件数蓄積エラー 	加算されている質量、または加算回数がメモリ容量を超えています。	合計質量及び合計回数を確認した上で、合計値をリセットしてください。
プリンタ充電時間の超過 	ジャーナルプリンタへの充電時間が10秒を超えた場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。

4-2. 仕様

(注意) 製品の仕様及び外観については、改良のため予告なしに変更することがあります。

プリンタ	: EPSON MODEL 150 II メカ式 ドットマトリクスプリンタ
印字間隔	: 桁間 2.1mm、行間 3.5mm
文字寸法	: 1.8 (巾) × 2.5 (高) mm
印字速度	: 1行/1秒
印字項目	: 正味量 5桁、風袋量 5桁、総量 5桁、印字回数 4桁、合計量 (正味量) 8桁、合計回数 4桁、年月日 6桁、時刻 4桁、NON TRADE USE (取引証明以外)
ロール紙	: 普通紙 45mm巾 紙圧 0.07mm (52.38g/m ²) : 外径φ45mm以下、5000行/巻
リボン	: EPSON MODEL 150 II用専用インクリボンカセット黒色
プリンタ信頼性	: 50万行 (MCBF)
リボンカセット寿命	: 約1万行
付属品	: ロール紙 1巻 : インクリボンカセット黒色 1個
操作部	 : 手動・自動切り替えキー  : 紙送りキー  : 合計キー  : 手動印字キー

外觀寸法図 :



信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号		TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	KDX浜松町センタービル4階	TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	朝日生命名古屋栄ビル5階	TEL.052-238-5731
北関東オフィス	〒350-0822	埼玉県川越市山田1888番地1		TEL.049-215-3122
千葉営業所	〒264-0025	千葉県若葉区都賀4丁目8番18号	ショー・エム都賀1階	TEL.043-214-3920
九州営業所	〒810-0044	福岡市中央区六本松2丁目12番25号	ベルヴィ六本松6階	TEL.092-577-1591